

科目名	環境衛生化学特論 (がん専門医師養成科目)		
科目責任者	東 秀 憲 (労働衛生工学 教授)		
開講時期:	1年次	単位数:	0.5 単位
		時間数:	90分× 4 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>環境中の粒子状物質の吸入曝露による有害性を理解し、これらからリスクアセスメントのプロセスを理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 気中の化学物質測定のリモートサンプリングについて統計的な理解をする。 2) 粒子状物質の粒度分布と濃度測定法について理解する。 3) 粒子状物質の実験動物を用いた吸入曝露試験法について理解する。 4) 粒子状物質の実験動物の体内残留量の分析方法を理解する。 5) 無影響量や許容濃度について理解する。 			
● 評価方法	検討会での討論20%・発表40%・レポート40%等で総合評価する。		
● 参考文献	講義の中で紹介する。労働衛生のしおり(中央労働災害防止協会)など		